資料－４

赤川水系河川整備学識者懇談会

赤川水系河川整備計画（県管理区間）の進捗状況について

平成27年10月13日

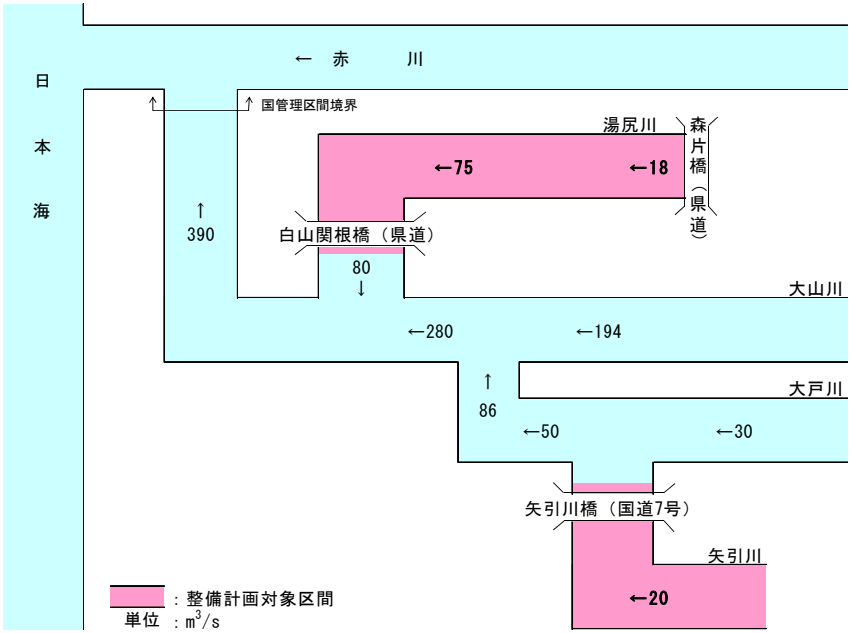
山形県　県土整備部　河川課

赤川水系河川整備計画の整備対象河川（県管理区間）

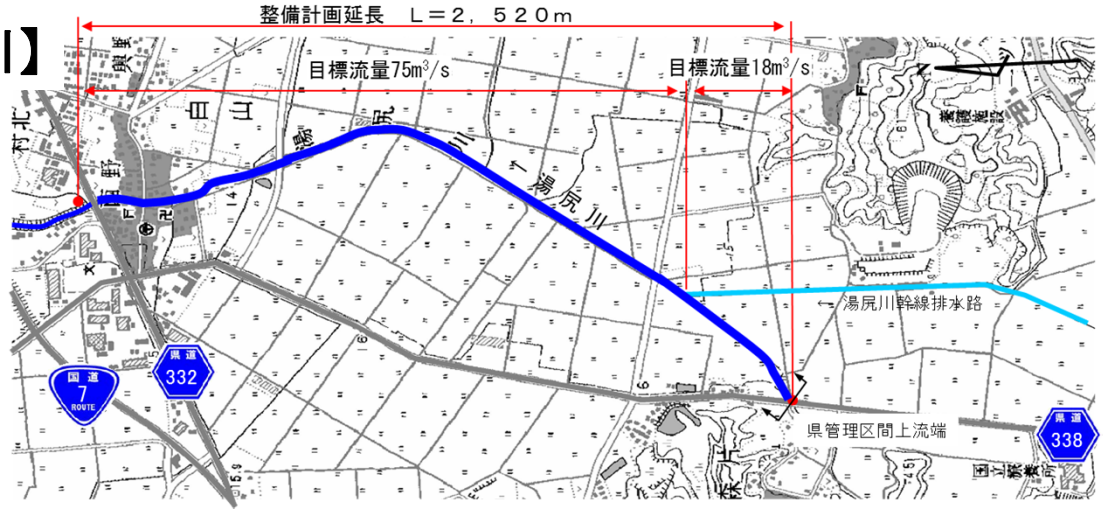
【赤川水系河川整備計画（県管理区間）の概要】
対象区間：山形県のすべての管理区間（44河川、延長L=229.3km）
対象期間：概ね20年間

河川整備対象河川

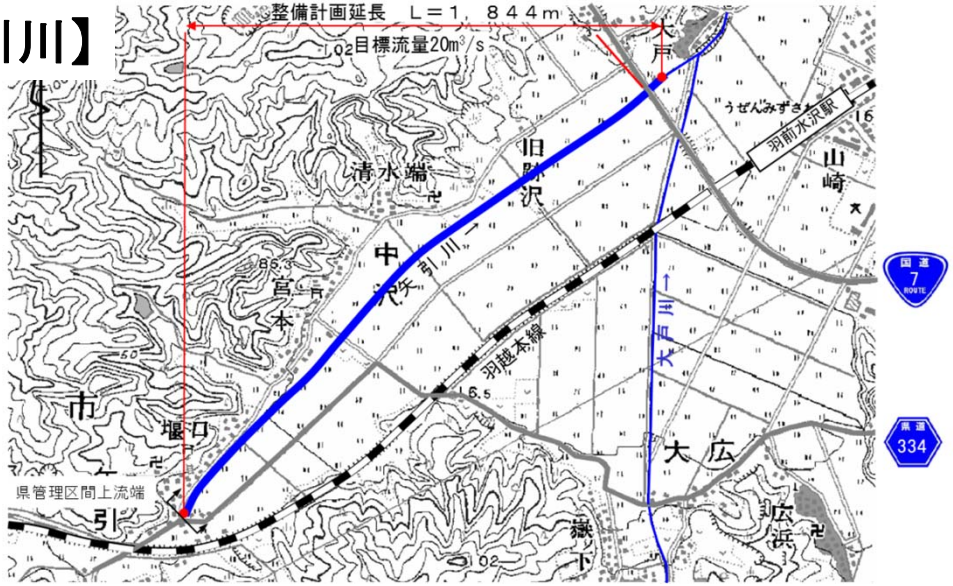




【湯尻川】



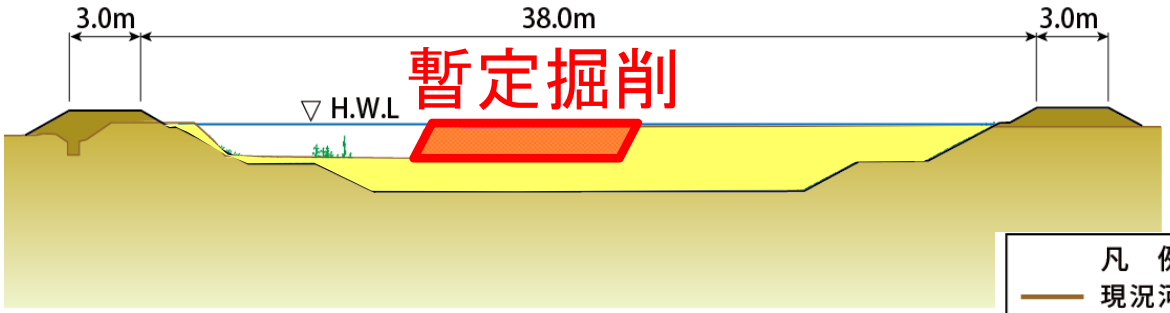
【矢引川】



【湯尻川】改修計画の概要

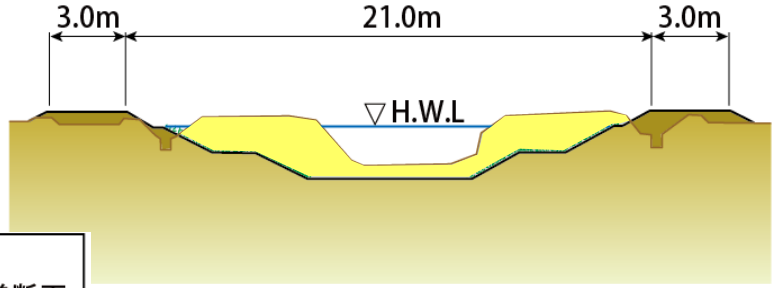
【治水上の目標】
下流大山川の現況流下能力を勘案しつつ、近年の主要洪水である平成19年6月洪水と同規模の洪水を安全に流下させる。

河道の整備	•築堤・河道掘削により流下能力を拡大する。
配慮事項	• 景観、生物等に配慮し、広く住民の意見を取り入れながら自然環境の保全に努め、親水性にも配慮する。 • 護岸は、治水上、必要最小限の設置とし、自然環境に配慮したタイプを採用する。 • 河川工事に際しては、濁水の流出防止等に配慮する。 • 中上流域では、野鳥やホタル等の生息環境の保全に努める。



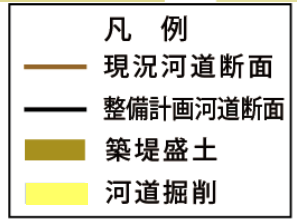
湯尻川標準断面図

（中・下流区間：目標流量75m3/s）



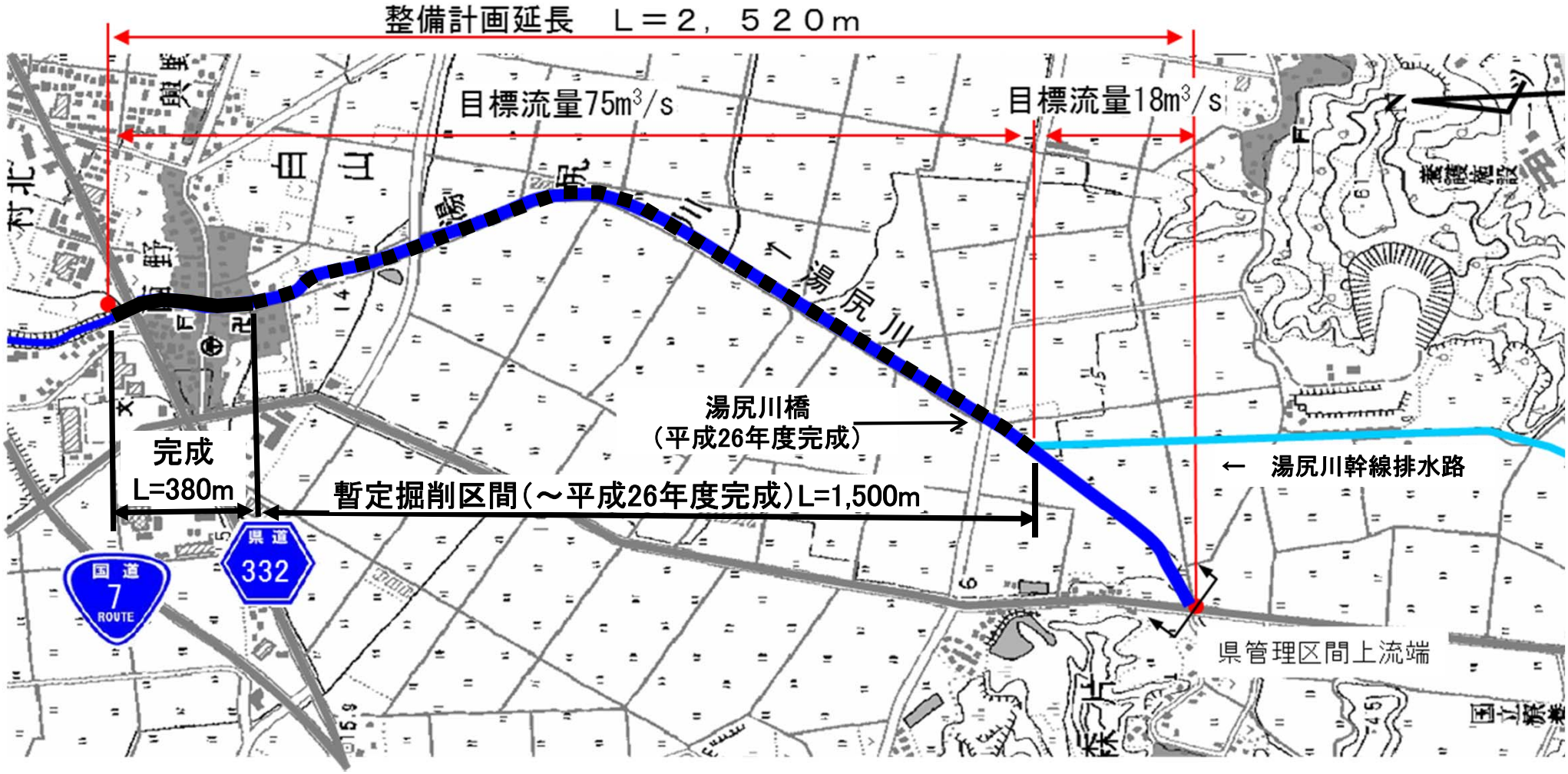
湯尻川標準断面図

（上流区間：目標流量18m3/s）

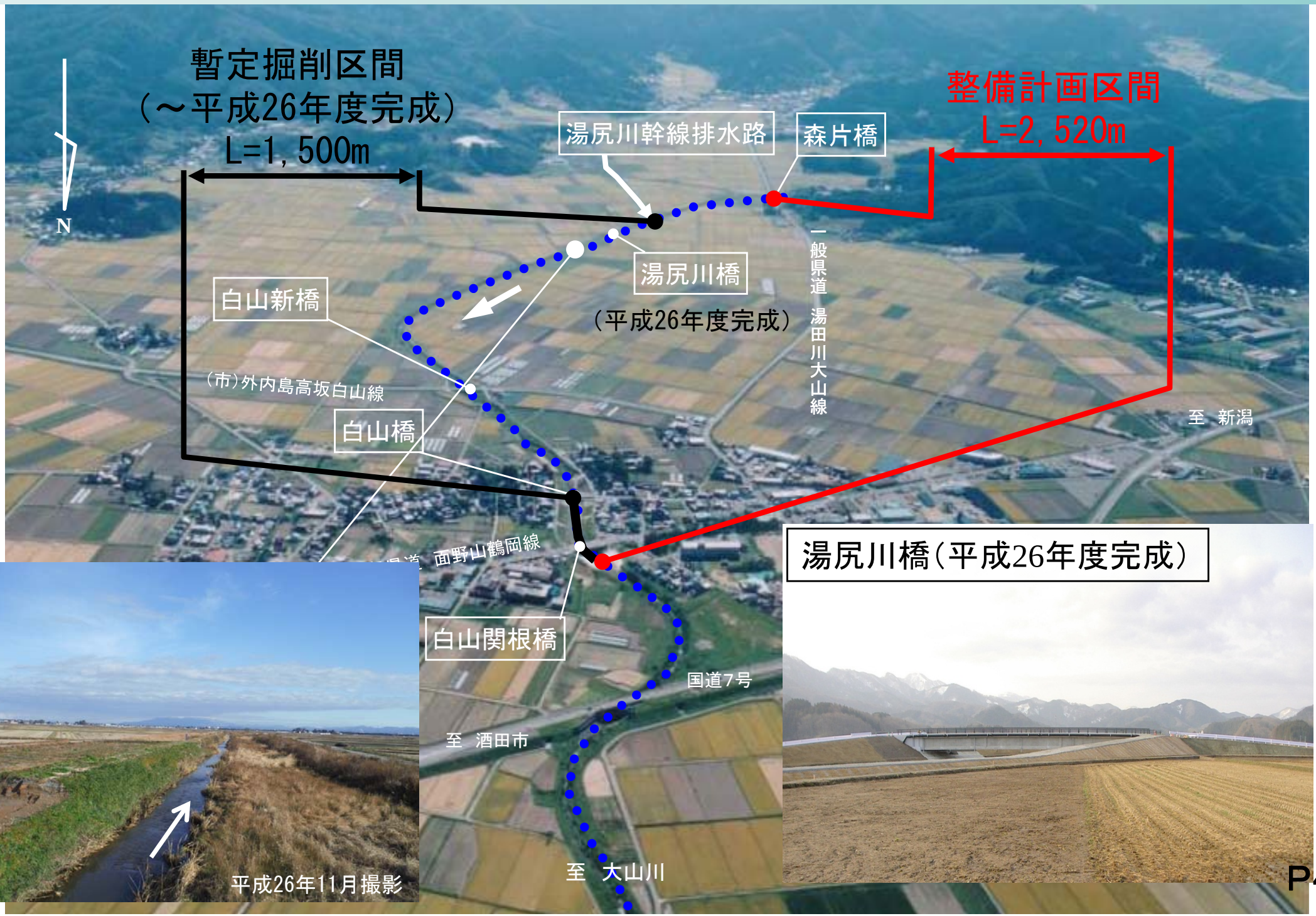


【湯尻川】進捗状況①

全体事業費　　:48億円、　　事業期間:H3～H42
H27末進捗率　:全体63%　（工事50%、用地補償88%）



【湯尻川】進捗状況②



湯尻川橋（平成26年度完成）

【湯尻川】進捗状況③

暫定掘削区間
（～平成26年度完成）
L=1,500m

N

湯尻川橋



平成27年以降
下流から河道掘削

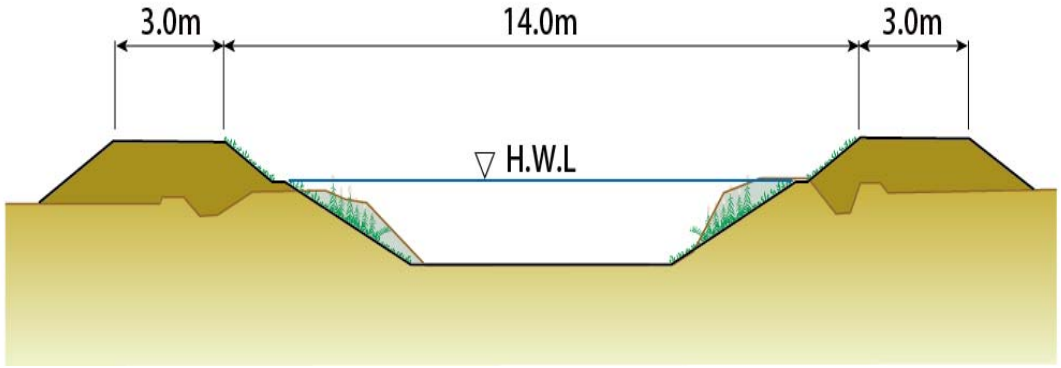


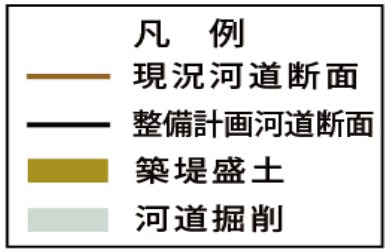


【矢引川】改修計画の概要

【治水上の目標】
　上流に位置する無堤区間の解消を図り、近年の主要洪水である昭和51年8月洪水と同規模の洪水を安全に流下させる。

河道の整備	• 築堤・河道掘削により流下能力を拡大する。
配慮事項	• 景観、生物等に配慮し、広く住民の意見を取り入れながら自然環境の保全に努め、親水性にも配慮する。 • 護岸は、治水上、必要最小限の設置とし、自然環境に配慮したタイプを採用する。 • 河川工事に際しては、濁水の流出防止等に配慮する。

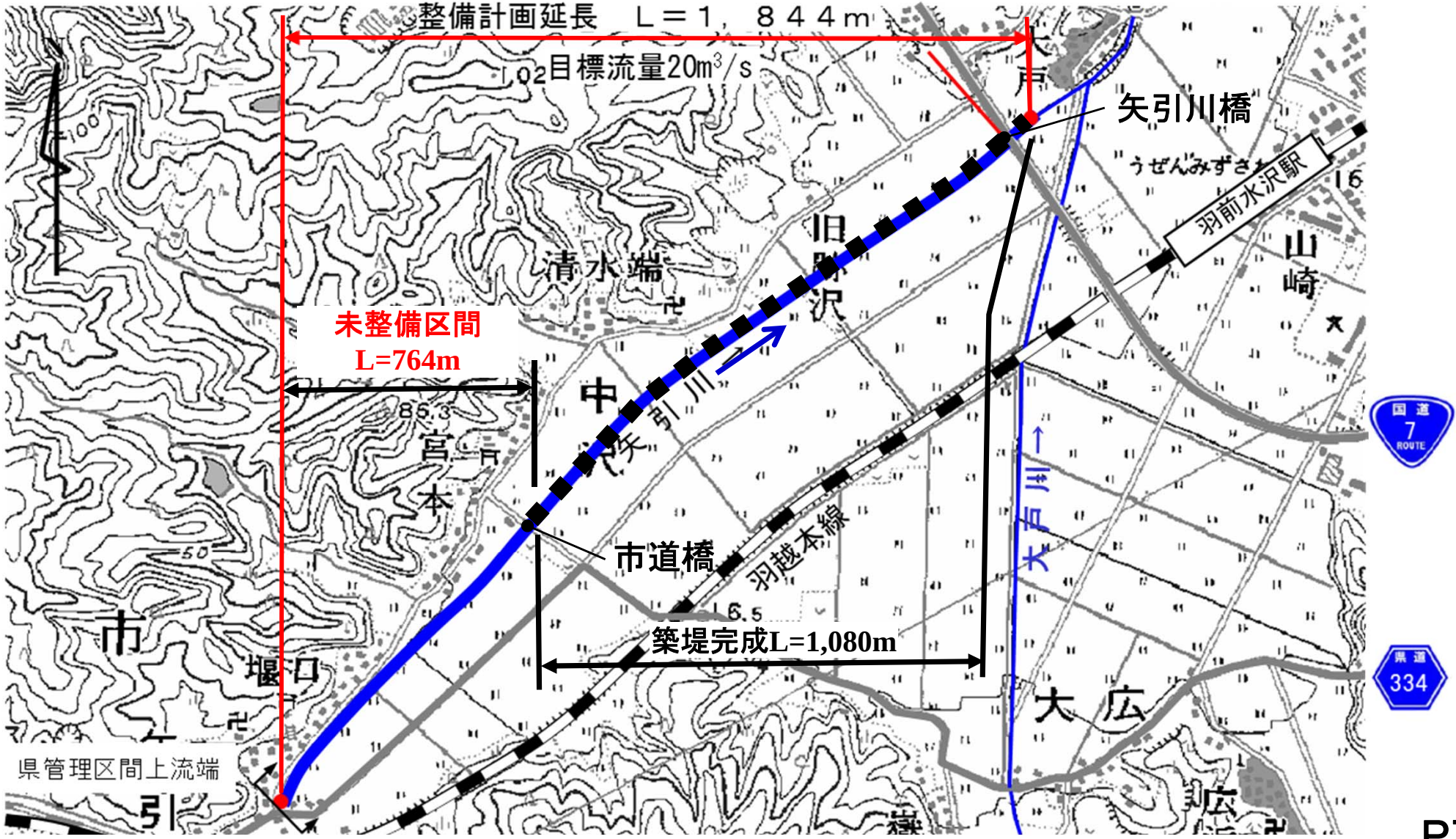




矢引川標準断面図（目標流量20m³/s）

【矢引川】進捗状況①

全体事業費　　:15.8億円、　　事業期間:H元～H32
H27末進捗率　:全体64%　（工事54%、用地補償93%）



【矢引川】進捗状況②


①完成区間

備計画延長　L＝1，８４４m
L02目標流量20m³/s
矢引川橋
①
うぜんみずさわ
羽前水沢駅
旧
清水端
山崎
未整備区間
L=764m
中
矢引川
85.3
宮本
②
市道橋
羽越本線
6.5
築堤完成L=1,080m
市
堰口
県管理区間上流端
H27:用地補償
H28～:下流から改修
国道
7
ROUTE

②未整備区間

【河道の維持について】取り組み状況

内川において「河積回復減災対策事業」により堆積土砂の撤去を実施し、土砂撤去に伴い発生する支障木については県民への無償提供を行いコスト縮減を図りました

着工前
（鶴岡市櫛引町下山添地内）



支障木伐採



堆積土砂の撤去



集積し県民へ無償提供



完　成



・出水時の水害リスクが軽減
・河川巡視の効率化
・不法投棄の抑制